

□ 要請番号 (JL50626A10)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エチオピア	G159 数学教育		個別	新規	2年	・2027/1 ・2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

アディス ミラフ小学校

3) 任地 (アディスアベバ) JICA事務所の所在地 (アディスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約0.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1966年設立の首都アディスアベバにある公立小学校。エチオピアの小学校はGrade1~Grade8の8年制(小学校1年~中学校2年に相当)で概ね7~14歳の生徒が在籍しており、アムハラ語(国語)、英語、算数、理科、社会、音楽・図工・体育などが教えられている。隊員の活動対象となるGrade6~Grade8の生徒数は約300名。Grade6までは授業には現地公用語であるアムハラ語が用いられ、Grade7からは英語が使用されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

エチオピアでは理数科教育に重点を置いた教育政策が取られているものの、算数教育においては、教員の指導力不足や生徒数の多さ、板書による暗記中心の授業が主流であることなどから、児童・生徒にその内容が十分に理解されず、基礎的計算能力等が不足していることが課題となっている。配属先校でも算数に苦手意識を持つ生徒が多く、同教科の学力が低いことが課題となっており、隊員には身近な例や教材を使った分かりやすい算数指導方法の紹介や現地教員向けの研修を行い、生徒たちが算数を好きになれるような授業の実施に貢献することが求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 日常生活などから身近な例を用いた分かりやすい算数指導方法の提案
- 現地で入手可能な材料を使用した教材の作成
- 生徒中心授業の考えを取り入れた指導方法の提案
- 同僚と共にGrade6~8(中学校1,2年生相当)を対象に上記の要素を取り入れた算数授業を実施し、生徒の苦手意識改善に貢献する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、教科書、PC、プリンター、コピー機、定規、コンパスなど

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚教員(Grade6~8) 16名。
活動対象者:Grade6~8(中学校1,2年生相当)の生徒:約300名、約42名/クラス。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（中学校又は高等学校教諭（数学）が必須]学歴]：（大卒） 備考：配属先学歴レベルとの調和

[性別]：（ ） 備考： [経験]：（教員経験）2年以上 備考：同僚への指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（9～27℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可 無線） [水源]：（安定）

【特記事項】

エチオピアの隊員派遣は首都のみ。国内旅行に関しても渡航可能な場所は限定的である。
小学校ではGrade1～6はアムハラ語、Grade7～8は英語で授業を行う。活動使用言語もそれに準ずる。アムハラ語は赴任時現地訓練にて学習する。断水、停電ともに週数回程度あり、生活環境は日本と異なることへの理解が必要。

【類似職種】

・ 小学校教育
※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。